

【3/9特集ページを公開!!】「伝統的酒造り」を次世代へ 三人の造り手の言葉と映像で描く、日本の伝統的酒造りの現在地 — 全国紙・BS番組と連動した大型メディア展開 —

全国約1,600の酒類メーカー(日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん)が加盟する日本最大の団体である日本酒造組合中央会(以下:中央会)では、日本が世界に誇る「伝統的酒造り」をテーマにしたメディア広告企画を実施いたします。本企画では、地域文化・生活文化として受け継がれてきた酒造りの姿を、第一線で活躍する三名の造り手の言葉と現場映像を通して描き、全国の一般消費者に向けてその価値と魅力を発信します。



日本酒造組合中央会公式HPにて公開された「伝統的酒造り」特集WEBページ

本企画は、2026年3月9日(月)に日本酒造組合中央会公式サイト内に特集WEBページを公開し、全国紙広告およびテレビ番組へと展開することで、「伝統的酒造り」への理解と共感を広げ、次世代へつないでいく意識の醸成を目指します。

■ 企画背景

日本酒や本格焼酎・泡盛の酒造りは、長い年月をかけて地域の風土や暮らしの中で育まれてきました。現在もなお、人の手によって受け継がれているその営みは、世界に誇るべき日本文化の象徴です。本企画では、伝統的酒造りを「過去の遺産」ではなく、今も育まれ続ける“生きた文化”として捉え、造り手自身の言葉と現場の姿を通して紹介します。「誇らしいからこそ、未来へつないでいきたい」その想いを、読者・視聴者の心に残すことを目指しています。

■ 出演者(五十音順)

- ・渡部 七海 氏(新澤醸造店 杜氏/宮城県)
- ・ステュアート・モリス 氏(新藤酒造/ハチドリ・サケ 杜氏/山形県)
- ・黒木 信作 氏(黒木本店/尾鈴山蒸留所 代表/宮崎県)

それぞれ異なる土地・酒造りの現場に立つ三名が、自らの言葉で語る「酒造りに込める誇り」と「未来への視線」を描きます。

